

業務積算システム新年度版ご利用の手引き

※「業務積算システム SUPER ESCON 2022」インストール完了後のご利用について記載しております。インストールについては別途、製品ご利用手順をご確認ください。

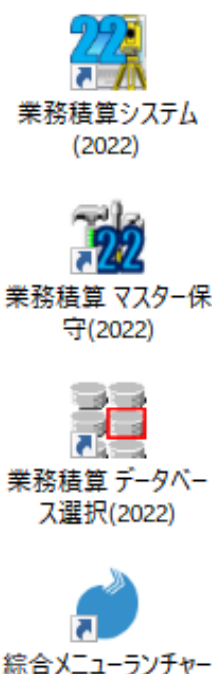
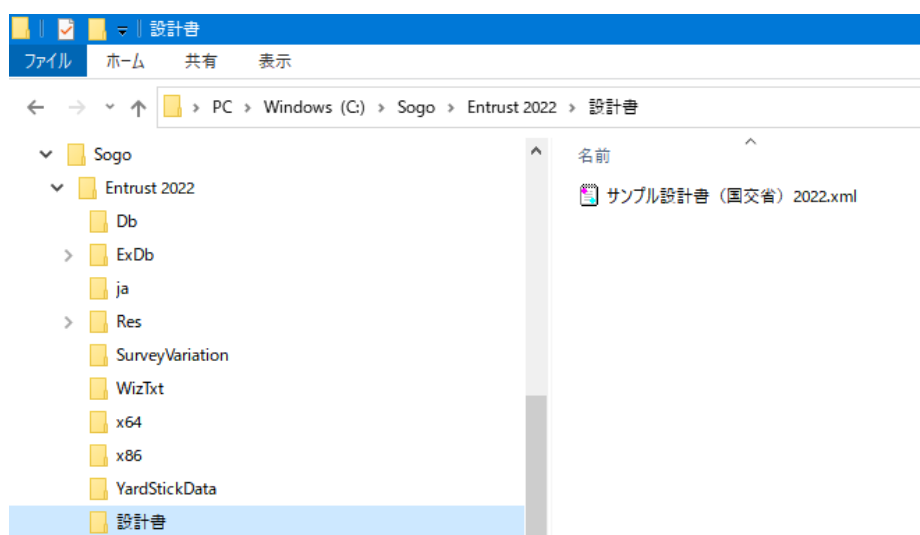
1. 新年度版インストールフォルダ

新年度基準の基本プログラムは、前年度とは別のフォルダにインストールされ、起動アイコンも別に作成されます。2022 年度版インストールフォルダは、C ドライブの下記場所となります。

【C:¥Sogo¥Entrust 2022】

インストールフォルダ

アイコン



2. 前年度基準で作成した設計書ファイルを新年度基準で利用する方法

- (1) 前年度基準で作成した設計書ファイルは、前年度インストールフォルダの「設計書」フォルダに保存されています。(※「ファイルを直接指定する」にレ点を付けている場合は任意の保存場所となります)
- (2) 移行したい前年度ファイルを新年度の「設計書」フォルダにコピーしてきます。
- (3) 新年度版プログラムを起動し、「開く」ボタンをクリックします。
- (4) 「設計書選択」画面の左下にある「リスト更新」ボタンをクリックします。
- (5) 前年度設計書ファイルがリストに表示されますので、選択、OK をクリックしてください。

3. ユーザー歩掛抽出、転送

前年度基準で作成したユーザー歩掛のデータを新年度基準で利用する場合は、古いマスターデータから抽出して新しいマスターデータへ転送する必要があります。

操作方法は、メニューバー→ヘルプ→マニュアル→マスター保守の

2. 6. 7代価表/基本単価/標準歩掛/分類データの抽出・転送をご参照ください。

4. 年度改訂概要

<国土交通省>

・令和4年度版 設計業務等標準積算基準書（青本）に対応しました。

主な改訂は下記の通りです。

(1) 測量業務の歩掛新設（航空レーザー測量（地図情報レベル500）およびUAVレーザー測量）、機械経費等の率改訂（全般）に対応

(2) 土木設計業務の歩掛改訂（道路詳細設計、補強土詳細設計、橋梁詳細設計）に対応

(3) 地質調査業務の代価新設（地下水位測定）、代価改訂（移動変形調査）に対応

<損料対応>

・令和4年度損料改訂に対応しました。

（建設機械等損料表、船舶および機械器具等の損料算定基準）

以上

株式会社 総合システム

〒550-0005

大阪市西区西本町2-3-6 山岡ビル

TEL 06-6536-3551

FAX 06-6536-6890

保守会員様専用 0120-449-380